

取扱説明書



タイヤゲージ エアーチャックガン式

注文コード：74356747

このたびは、タイヤゲージ エアーチャックガン式をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

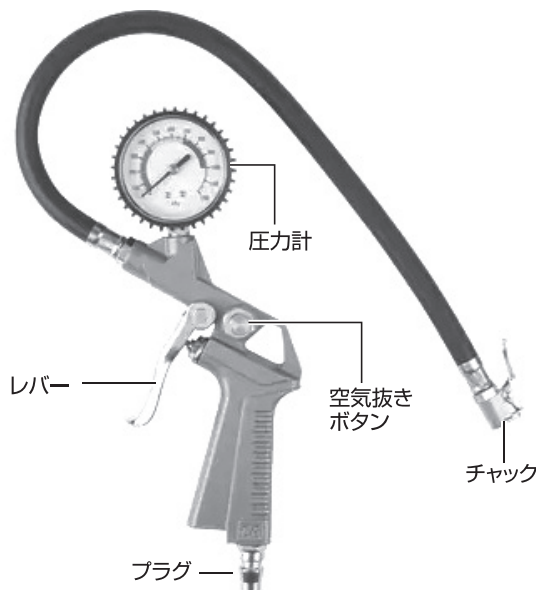
警告

- 本製品を本来の用途以外で使用しないでください。
- 空気以外の流体は使用しないでください。
- 最高使用圧力を超えた圧力で使用しないでください。
- タイヤを急速に空気充填する事は危険です。各タイヤの規定圧力値を確認しながら、充填してください。
- 火気や可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。
- 作業中に何らかの異常が発生した場合は、直ちに作業を中止してください。
- 測定範囲内(1000kPa)を超える圧力をかけないでください。
- 本体にヒビ割れや大きな傷等の損傷がないか確認してください。
- 本製品に強い衝撃や曲げを加えないでください。
- タイヤの適正空気圧力は車種・タイヤにより異なりますので、使用前に必ず適正空気圧力をご確認いただき、厳守してください。
- 本製品を使用してタイヤのパンク、破損、故障、事故等の損害には当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

注意

- オープンタイプの英式バルブ(自転車など)には付属チャックでは使用できません。
- 作業前に各部品の緩みなどがないか、確認してから使用してください。
- 金属粉や粉塵などが混入する場所では使用しないでください。作動不良や空気が漏れるおそれがあります。
- バルブ周りの泥や汚れは取り除いてから使用してください。
- ご使用前に本体圧力計が、0kPa(0~20kPa)を指しているかご確認ください。
- 接続後、エアー漏れがないか確認してください。
- 使用後は空気抜きボタンを押してゲージ内の圧力を抜いてから保管してください。(加圧したまま保管すると、ゲージ精度に誤差が生じる可能性があります。)
- 本製品の圧力計はあくまでも目安です。(測定誤差±30kPa)正確な圧力を計測する際には、圧力測定用ゲージで再度計測してください。
- 高温多湿での保管はしないでください。
- 小さなお子様の手が届かない場所に保管し、必ず大人の方が常に管理できる状況でご使用ください。

2 各部の名称



3 用途/特長と仕様

■ 用途/特長

特長	エアーコンプレッサーに接続すれば自動車やバイクにエアーの充填・減圧や空気圧の測定が行えます。
用途	圧力計付で空気圧を確認しながらエアー充填ができます。また使いやすいレバー式のガンタイプなのでレバーとボタンの操作で充填だけでなく空気抜きも可能です。バルブにしっかり固定できるクリップオンタイプです。

■ 仕様

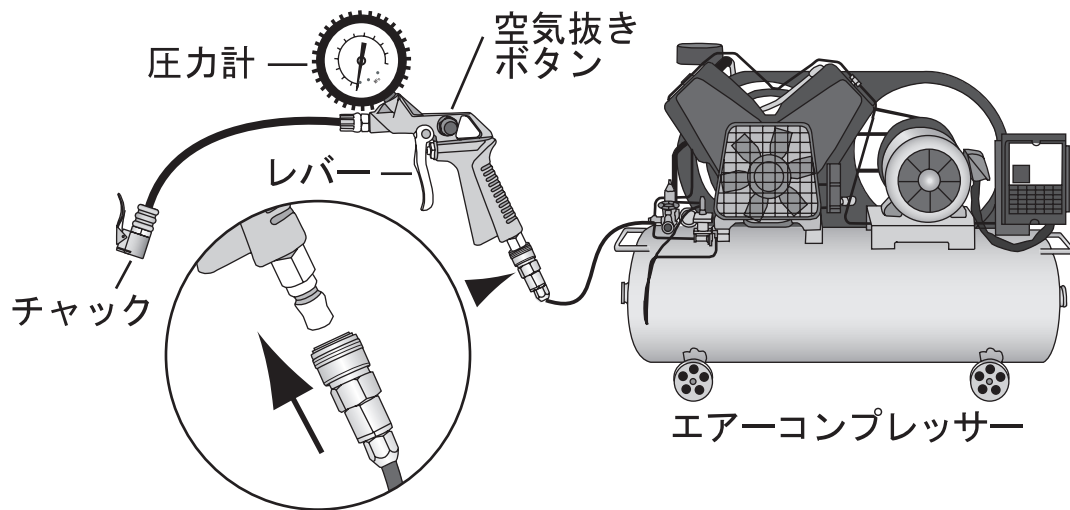
測定範囲(kPa)	0~1000
タイプ	クリップチャック
最高使用圧力(kPa)	1000
精度(kPa)	±30
空気取入口	カブラ用プラグ
空気接続口	G(PM) 1/4プラグ
ホース長さ(mm)	約440

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

4 使用方法

■ エアーコンプレッサーとの接続

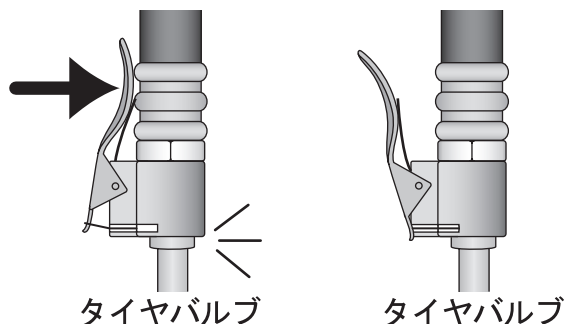
- ①コンプレッサーに設置されている圧力計の針が設定された、所定の空気圧を指しているか確認してください。
- ②コンプレッサーのエアー取り出し口より配分されたエアーホースに本製品を接続してください。



■ タイヤの空気圧確認

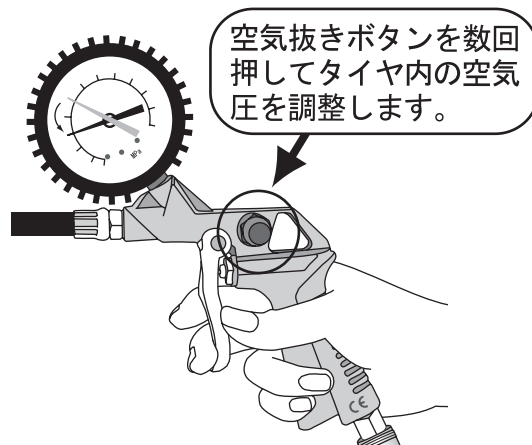
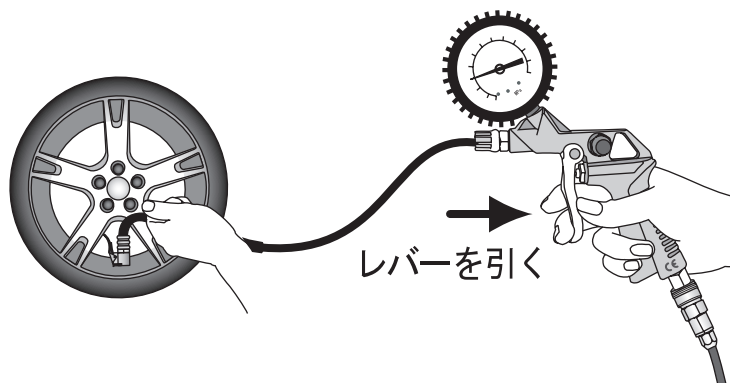
チャックのクリップを押しながらチャックをタイヤバルブに差込みます。
(この時チャックは、しっかりと奥まで押し当てないと空気が漏れます。)
クリップを離し接続ができたなら、圧力計でタイヤの空気圧を確認します。

- ①クリップを押し、
 - ②クリップを離すと
- しっかりと差込む 接続されます



■ 空気の充填

- ①上記の状態のままレバーを引き空気を充填させます。
- ②数秒間充填した後、レバーを戻すとタイヤの空気圧が表示されます。
- ③上記の①・②繰り返してタイヤの空気圧が適正になるまで充填してください。



■ タイヤの空気圧を下げる

タイヤの空気圧が適正空気圧より高くなった場合は、タイヤバルブにチャックを押し当てた状態で空気抜きボタンを数回押してください。
圧力計の表示を確認し、タイヤの空気圧が適正になるまで繰り返してください。